

様式第1号（第6条関係）

協働事業に関する提案書

令和7年1月15日

（あて先）狭山市長

団体名 狭山市文化団体連合会

所在地

代表者名 小川 忠史

次のとおり、協働事業に関して提案します。

1 提案する協働事業	行政提案型協働事業
2 事業名	青少年のための文化体験フェスティバル
3 事業期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日
4 事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度事業 <input type="checkbox"/> 継続事業
5 事業予算	総額 200,000 円（内補助金申請額 200,000 円）
6 事業概要 ※100 字以内で簡潔に記入してください	市内の小中学生を対象とし、日頃触れる機会の少ない種々の文化を体験する機会を提供する。市内小学校および狭山市中央公民館を会場として、令和7年7月に2回開催する。講師団体は当連合会所属の団体に加えて、一般の公民館サークルからも募集する予定。
7 希望する担当課 ※不明の場合は未記入	教育委員会 生涯学習部 社会教育課
8 添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 協働事業に関する企画書（様式第2号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業収支予算書（様式第3号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業実施スケジュール（様式第4号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業提案団体概要書（様式第5号）

様式第2号（第6条関係）

協働事業に関する企画書

団体名 狭山市文化団体連合会

事業名 青少年のための文化体験フェスティバル

1 事業名	青少年のための文化体験フェスティバル
2 事業の詳細	生徒数の減少、講師の高齢化、顧問教師の多忙化などにより、学校に於ける部活動が大きな転機を迎えている。一方、伝統文化や民俗芸能の継承を志している団体にとっては後継者の育成が大きな課題となっている。本事業は子ども達に種々の文化体験を提供するもので、将来本格的に文化を実践する出会いとなる事をめざす。
3 実施体制	狭山市文化団体連合会の役員が中心となり、参加講師団体にて実行委員会を立ち上げて事前準備および当日運営をすすめる。NPO 法人さやま生涯学習をすすめる会に参加者募集の一部事務作業と狭山市中央公民館での運営の手伝いを仰ぐ。
4 役割分担	【提案団体の役割】 実行委員会の運営、事前準備、会場校との交渉、体験講座の案内ちらしの作成、参加希望者の講座決定、講座参加の連絡など
	【市の役割】 講師団体の募集案内、小中学生への参加案内と参加申込の受付。公民館の事前予約。
5 協働の効果	市と協働することにより、狭山市全体のイベントである事が認知され参加者の拡大が図れる。 社会教育課との連携により、小中学校（児童生徒）への案内および希望講座の申込がデジタル技術を用いて行う事ができ、より効率化が図れる。
6 事業のアピールポイント	子ども達に様々な文化を体験してもらい、文化に対する関心を高めてもらう。また、将来自分がやりたいことを見つけるキッカケにもなり、文化サークルあるいは団体との接点を提供できる。 本事業を継続することによって子ども達の文化活動の受け皿が拡大していくことが期待できる。